

交流で深めた友情 フレンドリーツアーで三豊訪問

洞 翁湖
町と
友好都市
の三豊市
を訪問す
る「ふる
さと・ふ
れあいフ



うどん作りを体験するとうや小の児童

レンドリーツアー」が、11月18日～21日の日程で行われ、とうや小学校の6年生児童ら12人が三豊市を訪れました。今年の7月29日～8月1日には、三豊市の6年生児童14人が当町を訪れるなど、地元小学生同士の交流事業として続けられてきました。

同ツアーでは、市内の工芸品の岡本焼きやかかり手まり体験、みかん狩りなどを、夏に訪れた三豊市の児童と一緒に楽しみました。

歓迎式では、とうや小学校の児童がそば打ちを行って参加者にふるまい、好評を博しました。

11月27日、第3回町民フローカーリング大会（洞翁湖スポーツクラブ主催）があぶた体育館で開かれ、40人が参加し頭脳戦を繰り広げました。

試合編成は、ダブルとフォース。ダブルは4チームが参加し、リーグ戦で戦われました。フォースの方は8チーム参加があり、2ブロックで予選を行い、両ブロックの1位同士が優勝戦を行いました。ターゲットへの正確さのほかチーム同士の駆け引きなどもあり、張りつめた空気が体育館の中に漂っていました。

成績は次のとおり。

ダブル優勝
洞翁チーム
フォース優勝
本町7区A



集中してフロッカーを投げ合う選手ら

頭脳のせめぎあい 町民フローカーリング大会

ウイメンズネットワーク洞翁湖（青木佐智子代表）の初冬の恒例行事となっている味噌作りが、11月29日、あぶたふれ合いセンターで行われ、会員約25人が参加しました。

農業改良普及センターの大沼千佐子さんを講師に、会員らは慣れた手つきで、地場産の大豆15kgとこうじ15kgなどを練合せ味噌を作り上げました。

このほか「地産地消のススメ」として、にんじんを使った、ご飯、ポタージュ、味噌炒めの3品を作り、楽しい会話といっしょにみんなで試食しました。



味噌づくりを楽しむ会員ら

初冬恒例の味噌づくり 地産地消の「食」推進

手作り洋菓子大人気 洞翁高校生実習販売会

洞 翁高
校2
年生による「エコプロジェクト 実習製品販売会」



大勢の買物客でにぎわった実習販売会

販売会」が12月16日、スーパーウロコ虻田店で開かれ、授業で作った洋菓子などを販売し、大勢の買い物客が詰め掛けました。

町内や周辺地域の地場産品を使ったかぼちゃのシフォンケーキやごほうクッキーなどのお菓子類と布製エコバックやルームシューズなどを販売し、お菓子類は早々と完売しました。合わせて新聞エコバック作りとタオル帽子作りも開催。多くの人の目を引き、指導の生徒も大忙しでした。始めてJR札幌駅でも同販売会が実施されました。

まちのわだい